

令和 7 年度 プレジャーボート対策研究会 報告

I 開催概要

日 時：2025 年 8 月 28 日（木）13 時 15 分～17 時 15 分

場 所：海事センタービル 7 階会議室

参加者：34 水域管理者（会場参加者：26 名、Web 参加者 82 名）

うち国の参加：国土交通省 港湾局、海事局、水管理・国土保全局、各地方整備局
水産庁

当日は、以下の議事並びに進行のもと、4 時間に及ぶ会を運営した。

詳細は会報（vol.144）において報告。

II 議事等

1. 主催者挨拶 （一社）日本マリーナ・ビーチ協会 理事長 八 鯨 隆

2. 国土交通省港湾局挨拶 国土交通省港湾局海洋・環境課 港湾環境政策室長 花田祥一

3. 研究会議事

（1）「船価鑑定の考え方について」（講演 1）

講師：小林 重成 新日本検定協会 物流・安全グループ輸送・安全ユニット

（2）「FRP 船リサイクルシステムの利用促進について」（講演 2）

講師：黒田 光茂 日本マリン事業協会 FRP 船リサイクルセンター室 室長

（3）事例報告__放置艇対策事例報告（不法係留船の撤去・処分事例）

1) 秋田県__放置船に対する取組み

2) 三重県__三重県における放置船撤去の事例

3) 和歌山県__和歌山県のプレジャーボート対策

4) 千葉県__船橋市日の出水路における不法係留船等の行政代執行及び簡易代執行の
実施について

（4）総合討論 （一社）日本マリーナ・ビーチ協会 調査研究部長 木下 明

① 放置艇の撤去・処分に関する悩みやボトルネックの共有

② 廃物認定基準や船価鑑定の考え方についての知見の習得

③ FRP 船リサイクルシステムの利用促進方法の議論

④ R8 年度実施予定の全国 PB 実態調査に関する質疑応答

4. 閉会

閉会後は交流会を開催（1 時間）、会場参加者を中心に 20 名ほどの懇談の機会を設けた。

以上